

## 「共感する力」

あの人の心の痛みがわかる。あの人のやるせない気持ちがわかる。そのように他人のもつ真実のものに共感できるのは、地球上の生き物のなかで人間しかない。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

散ってしまう桜にそっとボタンを手渡されたかのように、つつじが咲きはじめました。目の覚めるような白やピンクが溢れかえるように彩っています。

入園してから1ヶ月が経ち、子どもたちも新しい生活に少しずつ慣れてきています。小さいながらも、友だちの寂しそうな様子や泣いている姿にそばに行き頭を撫でたり、楽しそうにしていたり、嬉しそうにしている時に同じように表情豊かになったりと心が通じ合っているように感じる事が多くあります。共感とは、相手の気持ちを汲んで理解し寄り添うことができることです。相手の気持ち、受け取り手の感情をどうやって感じとれるかは、とても難しいことだと思います。同じ出来事が起こっても感じ方は人それぞれであり、時として意見が異なることもあるからです。だからこそ、自分の意見だけでなくそれぞれに考え方があり、思いがあるのだということも心に留めておく必要があるのだと思います。単に同調するのではなく、思いやりの気持ちを持ち、時に寛大に寄り添い歩み寄ることが大切です。自分のことだけではなく様々な考えがある事、気持ちを言語化していく、この人だったら分かってくれる、信頼できるという経験をたくさん積みながら、共感力を育みながら、一緒に楽しみ喜び合えるような園生活を過ごしていけるよう努めていきたいと思っています。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子  
職員一同

5月聖句  
安心して行きなさい。

マルコによる福音書 5章34節

5月主題

「だいじょうぶ」0歳

- ・神さまのお守りの中、園の生活に慣れていく。
- ・おだやかでやさしいことばをかけられ満たされて過ごす。
- ・保育者に守られ安心して過ごす。

1・2歳

- ・お祈りやさんびかに親しむ。
- ・一緒にいる保育者や友だちと安心して過ごす。
- ・まわりの大人に十分に受け止めてもらって、思いを表現する。

## ～子どもたちの姿～

青空が広がるさわやかな季節となり、散歩をするとう虫や蝶々など子どもの好奇心をくすぐる虫とたくさん出会います。花壇ではアリの巣を見つけ、持っていた小枝を穴の中に入れて、登ってきたアリに驚いたり、指で触れたり興味を示していました。行列を見つけた時は、「どこにいんだらう」「ご飯を探しに行くんだよ」「お家に帰るんだよ」と友達と想像を膨らませながら話をしたり、虫を運んでいる姿を見ては少し怖がる様子を見せながらもじっと観察していました。遊びを通し感性や想像力、好奇心が育めるよう、また子どもたちの主体的な姿に寄り添い、子どもの遊びを支え、次への意欲につながるような活動を行っていきたいと思います。



### 【5月の讚美歌】

つくしのように

### 【5月のうた】

おかあさん  
こいのぼり  
あくしゅでこんにちは



	月	火	水	木	金	土	日
5月の予定表						1	2
	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6	7 身体測定	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20 避難訓練	21	22	23
	24	25 誕生日会	26	27	28	29	30
	31 クレイシュ通信						
	◎日差しが強く汗をかきやすい日も多くなり着替えの機会が多くなりました。気候に応じた服装の準備をよろしくお願いします。						